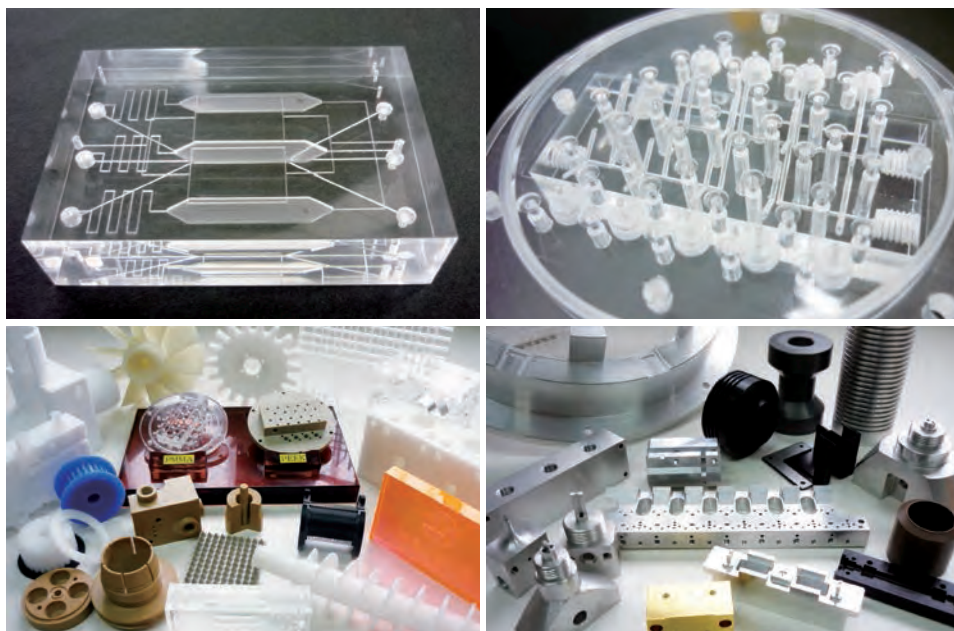


河本化成工業 株式会社

プラスチック精密切削 加工のスペシャリスト

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンリーワン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



治具から分析機器、半導体装置までのプラスチック・軽金属製品群

業務内容

治具から分析機器、半導体装置までのプラスチック部品を加工

汎用樹脂からエンジニアリングプラスチック、耐熱性や耐薬品性がある高機能プラスチックの精密切削加工をメインに手がける。金属に比べて柔らかく加工しやすいプラスチックを、高精度で薄い皮のように仕上げる技術も確立。同技術でスピーカー組立時に使用される厚み0.3mmの治具を製作し、ヒット製品となった。「国内の大手でスピーカーを手がけるところにはほとんど採用された」と河本茂樹社長は語る。工作機械や検査設備も社内充実させ加工技術を磨き、現在は環境・医療分析機器向け部品や半導体製造装置向け部品といった多品種少量生産品向けの加工を展開する。

強み 4工場での効率的なものづくり

4工場体制でプラスチックや軽金属の切削加工を行う。マシニングセンター(MC)8台やNC(数値制御)旋盤6台の設備を主力にし、溶接や治具生産なども行う。各工場では加工用途や製品別で効率的なもののづくりを展開する。検査体制も三次元測定器や画像拡大測定器などを導入して拡充。加工する刃物にも独特の工夫を施す。顧客の難しい要求に対し、河本社長は「とにかくやってみる」という姿勢で挑んできた。独自の樹脂材料選定表も作成し、



製造現場

各材料に合った加工法を確立。顧客ニーズを掴んで提案する営業部も6人を配置し、力を入れている。

技術力 切削技術「プラスα」

河本社長は「切削技術プラスα」を追求している。この一環で医療機器分野も強化中だ。調べたい細胞をセットし試薬を流して反応を見る実験器具「マイクロリアクター」を手がける。同器具は厚み5mmの樹脂基板上に10μm(50μm(マイクロは100万分の1mm))単位で加工した細かい流路を設け、同基板を3枚重ねて熱溶着接合して作る。多層で高集積のマイクロ流路が形成される。東京で開催される高機能プラスチックの展示会に加工品などを出展し、技術力をPRしている。

今後の展望 特許製品も手がける

国内で特許を取得した、8の字状に動作する省電力型攪拌機「オロイド」をミツヤテック(堺市北区)と共同開発した。特殊な歯車構造でメンテナンスの手間を軽減。プラント業界や食品業界向けなどに提案する。またプラスチック精密加工は、重工業メーカーにも地道にPRする。「炭素繊維強化プラスチック以外にも、精度や耐熱性などで優れた特徴を持つエンジニアプラスチックが多いことを知ってもらいたい」と河本社長は強調する。顧客満足度を高めるものづくりを追求し、ニッチ分野だがが一手間かけたプラスチック加工の技を磨き、他社との差別化を図る。

COMPANY PROFILE

河本化成工業株式会社

大阪 26

当社の歴史

河本社長の父親(河本清氏)が昭和40年にプラスチックの切削加工でスタートしたのが始まり。当時は旋盤が無く、ろくろを横にして加工していました。手がけたスピーカー組立用の治具が認められ、成長の礎を築きました。京都の有力分析機器メーカーともつきあいが長い。さまざまな加工依頼を受け、それに応えることでものづくり力を磨いています。



代表取締役社長 河本 茂樹さん

技と心+αでみんな笑顔に

■主な事業内容
プラスチックと軽金属の精密切削加工

■主な取引先(納入先)
環境・医療分析機器メーカー、空気圧機器関連メーカー、ポンプメーカー、重電機器メーカー

住所/〒536-0013
大阪市城東区
鳴野東1-5-13
TEL/06-6969-0812
FAX/06-6961-1790
創業/昭和40年2月
設立/昭和47年7月
資本金/2,400万円
従業員/32名

<http://www.kawamoto-k.co.jp>